

# 入曽地区中学校統廃合説明会報告

## 【対象：入間中学校保護者】

- 1 開催日時  
平成 24 年 6 月 30 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 5 時 15 分
- 2 開催場所  
入間中学校 4 階音楽室
- 3 保護者数  
15 名
- 4 市職員（計 6 名）  
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主任  
学校教育部参事兼教育指導課長、学務課長
- 5 配布資料
  - ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について
  - ◆ 入曽地区の中学校を取り巻く状況
  - ◆ 統廃合に伴う学区の見直し案
  - ◆ 対照表

## ——— 主な質疑応答及び意見要望 ———

### 統廃合検討協議会・部会に関すること

- Q 今までの検討協議会は、各委員が代表として意見を吸い上げることなしに個人の意見を述べているだけだから、入間中廃校の結論は無効ではないのか。
- A 委員の皆さんが真剣に検討協議していただいた結果として導かれた結論だと思っておりますので、元に戻すことは考えていません。
- Q 私達が先の部会で主張した入間中の廃校差し戻しの件は、あらためて検討してくれるのか。
- A 会長と相談しますが、事務局としては既に検討協議会で出された結論は尊重すべきと考えています。
- Q 検討協議会に出ていない自治会の意見は、どう吸い上げるのか。
- A 部会の中で認められれば、必要に応じて委員の数を増やすことは可能ですし、オブザーバーとして意見を求める形なども考えられます。
- Q 検討協議会の議長は個人的な意見を言っているのか。

A 個人的な意見といいましても、あくまでも議長または委員としての発言であると考えています。

Q とくに期限を決めずに今後の議論は続けられるという理解でいいか。

A 十分な議論は必要ですが、区切りなくいつまでも議論を続けるということではありません。

Q 入曽地区の真ん中にある入間中に3校の生徒が全員通えるくらい大きな学校を新たに建ててほしい。

A あらためて会議の中で提案します。

- ◆ 入間中の耐震や冷暖房の工事を実施したうえで、3校が同じ土俵に立った状況で改めて統廃合の対象校は検討すべきだ。
- ◆ 「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」には、統廃合の対象校までは明記していないとのことだが、入間中の敷地が最も狭いなどと書かれれば皆誘導されてしまうし、最初から入間中に絞り込んでいたと感じざるを得ない。
- ◆ 検討協議会は環境整備のことを後回しにして学校をなくすことばかり議論している。
- ◆ 検討協議会で決めたことと事務局は言うが、統廃合という重い決定を一市民に背負わせていいのか。
- ◆ 検討協議会の委員が真剣に考えて出した結論と言うが、蔭では「面倒くさいから早く終わらせちゃえ」などと言っている委員も中にはいる。
- ◆ 少なくとも入間中がある入曽中央自治会の会長は委員に入っただけで、子どもの数が少ない自治会でも、そこに住んでいる人たちにしか分からないことなどもある。
- ◆ 事務局は、検討協議会の委員に対し、代表として吸い上げてきた意見を述べてほしい旨を口頭ではなく文書で指導すべきだ。
- ◆ 部会の場で入間中の立場を主張している時に、私たちは暇で来ているわけではないといったようなことを他の委員に言われるのは辛い。
- ◆ 全然知らない人たちばかりで議論しても机上の空論にすぎないので、私たちのような保護者を検討協議会の委員に加えてもらえれば、白黒はつきりつく。
- ◆ 日々、学校や子ども達の事を考えている私たち保護者に比べ、ほんの10日間程度の会議の時だけしか考えていない検討協議会の委員の間で入間中の廃校を決めてしまうのは酷すぎるし、子ども達が可哀そう。
- ◆ 入間中は部活の成績も優秀であるにもかかわらず、実際に見てもいない人たちに校庭が狭いというだけでマイナスの評価をされるのは納得がいかないし、校庭が広がって目が行き届かないといったデメリットもある。
- ◆ 部会に出ている入間中の委員は二人しかいないから、多数決になれば勝ち目がない。

### 耐震に関すること

Q 平成 26 年に統合しなかった場合、入間中の耐震補強工事はしてくれるのか。

A 現段階で耐震補強工事を行う予定はありません。

Q 何年も統合の時期が延びたとしても、入間中の耐震補強工事はしないのか。

A 国は平成 27 年度までに学校の耐震化を完了させる方針を示していますので、その時期までには統合したいと考えています。

Q 耐震補強工事を先送りしたことで、もしも地震で子ども達に万が一のことがあったら、市はどう責任を取ってくれるのか。

A 入間中学校はIs 値 0.6 を満たしていませんが、学校の校舎が簡単に崩れ落ちるとは考えていません。学校教育の現場においても、これまでの避難訓練といえば、机の下に隠れるなどしてから校内放送の誘導により一斉に校庭に避難するといったものが多かったりしたのも事実ですが、東日本大震災を境に、緊急地震速報を活用した避難訓練など、各自が状況に応じて主体的に行動できるような安全指導の見直しを図っているところです。

- ◆ ホームページに出ている耐震化計画には入間中も含まれているのだから、実施しないならしないで、その旨明記してもらわないと混乱してしまう。
- ◆ 狭山市駅前の開発にかけているお金の幾分かでも入間中の耐震補強工事の費用に回せないのか。
- ◆ 子どもの命に関わることなので、入間中の耐震補強工事は前向きに検討してほしい。
- ◆ 保護者や地域の間でカンパを募れば、入間中の耐震補強工事をしてくれるか。

### 学区・通学路に関すること

Q 通学路がどれだけ危険か実際に見てほしい。

A まずは学区を決めたうえで、必要に応じて通学路の实地調査を行うなど、危険が指摘された箇所については改善を図っていきたいと考えています。

Q 安全な通学路が確保されないまま、子ども達を通わせるのか。

A そういったことがないようにしていきます。

Q 通学路に関しては、通学時間や危険箇所、道幅などデータのものを提示してほしい。

A 今後、可能な範囲で必要なデータは出していきたいと考えています。

Q 山王中と入間野中の両校が適正規模になるのは④案しかないのだから、この案で決まりではないのか。

A もちろん適正規模の観点は重要ですが、入間中学校の生徒が分散しないようにするなど、いろいろな角度から検討し、統合的な観点から判断していただきたいと考えています。

Q 適正規模にならないのなら、統廃合する意味がない。

A 入曽地区の3校すべてが小規模校という現状もありますので、より適正な規模に近づけるといふ観点からも統廃合は必要と考えています。

- ◆ 歩きもせずに学区なんて決められるのか。
- ◆ 安全な通学路が確保されないまま学区を決めるなんてありえない。
- ◆ マクドナルド周辺の道を自転車で通わせるというのは、交通事故を起こしてくださいと言っているようなものだ。
- ◆ マクドナルド周辺の道は、交通事故の件数には数えられていなくても接触事故はしょっちゅう起きている。
- ◆ PTA 会長ということで検討協議会の委員に委嘱されているが、通学路は子どもの命に関わることなので正直関与したくない。
- ◆ 入曽地区は道路状況が悪いので、通学距離が伸びるからといって自転車通学は安易に認めてほしくない。
- ◆ 現在の道路の状況では、整備をしない限り、いくら安全に気をつけても自転車通学は無理だ。
- ◆ 親としての最大の関心事は子どもの安全だ。
- ◆ 通学路を決定する権限がある校長先生が学区部会に入っていないのは理解できない。

#### **統合の時期に関すること**

Q 統合の時期は早くて平成 26 年とのことだが、現時点でも全くはっきりしていないのか、それとも実際にはその方向で動いているのか。

A あくまでも現時点では白紙であり、今後の検討協議会の協議の中で決めることとなります。

- ◆ 一年先のことが未だ決まっていないというのは、計画的に子どもの入学準備を進めている保護者にとっては納得がいかない。
- ◆ 統合に向けていろいろな事を決めるにあたり、残り 2 年余りでは短すぎる。

#### **情報の周知に関すること**

Q 実際に関わってくる南小学校では、統廃合の情報が全く下りてこない。

A 南小学校においても、なるべく早い段階で保護者説明会を開催する予定です。

Q 南小学校でも、入間中を廃校にすることを前提とした説明会になるのか。  
A 検討協議会での検討結果を説明するとともに、説明会でいただいたご意見は今後の協議に反映していきたいと考えています。

Q 教育委員会は昨年度末に南小と入間野小でアンケートを実施しているが、記入した者としては結果を知りたい。

A アンケートにつきましては、その結果が先週まとまりましたので、いただきましたご意見を全て載せた形で、小中学校の対象の保護者に近日中に配布します。あわせてホームページにも掲載する予定です。

Q 統合後のアンケートを踏まえ、その影響や効果などを教育委員会として専門の視点から評価・検証してほしい。

A 今後内部で検討していきたいと考えています。

- ◆ どうせ決まっていることだから統廃合の説明会は行っても無駄だと思っている保護者が多数いることを、教育委員会には知っておいてもらいたい。
- ◆ 部活動の有無を理由に入間中以外の学校に通えることなども含め、小学校へは早めに出向いて説明してほしい。
- ◆ 統廃合をやりたいのは行政なのだから、アンケートを取るなど、もっと積極的に保護者や地域に働きかけてほしい。
- ◆ 説明会の場でアンケートを取るなど、もっと保護者の意見を吸い上げられる機会があつていい。
- ◆ 学校は避難場所であり地域の拠点だが、自分の自治会からは統廃合の情報は全然下りてこない。
- ◆ 統廃合に関する情報提供は、学校ごとに個別に行うよりも、教育委員会から同じ情報を出してもらおう形が望ましい。
- ◆ まだ決まっていないから説明に行かないではなく、保護者が今どう考えているのかを知ってほしい。

### **二度統廃合を経験させることについて**

- ◆ 入間小の思い出が長かった5年生や6年生は、辛い思いをして学校を移ったのに、その学年に中学校でも統廃合を経験させようというのか。
- ◆ 入間小で統廃合を経験した自分の子どもが、また統廃合を経験することになるとは思ってもみなかった。
- ◆ 統廃合を経験して傷ついた子は数人しかいないからといった捉え方はしないほしい。
- ◆ 二度も統廃合を経験することはないと子どもに説明してしまっている親の立場はどうなるのか。

- ◆ 以前に二度も統廃合は経験させないと教育委員会は約束したのだから、責任をもって考え直してほしいし、そういった可能性もあることを検討協議会に提案してほしい。
- ◆ 私たちではなく、統廃合を経験していない現在の小学校1，2年生の児童の保護者となれば、教育委員会は同じ土俵に立てるのではないか。
- ◆ 入曽幼稚園と入間小学校に続き、今度は入間中学校でも統廃合なんて納得がいかない。
- ◆ 通っている途中で学校がなくなってしまう子どもや親の気持ちを考えたことはあるか。
- ◆ 二度統廃合を経験させることもやむを得ないと市議会で答弁しているが、保護者に説明する前にいきなり議会で答えられても困る。
- ◆ 教育は人的環境が一番重要なので、二度統廃合を経験させることの是非については検討すべきだし、その答えは出してもらいたい。
- ◆ 二度統廃合を経験した子どもについては、学校を自由に選べるようにしてほしい。

### その他

Q 統廃合の目的は、子どものためなのか、財政のためなのか。

A 統廃合の目的は、あくまでも教育環境の充実が第一と考えています。

Q 統合したら、部活のユニホームはバラバラのまま出ることになるのか。

A そういったことも含めて今後検討していくということです。

- ◆ 「入間中学校統廃合を考える会」では、いま私たちが頑張らないと子どもたちが大変なことになってしまうという思いで活動している。
- ◆ 検討協議会でも市議会でも行政の答えは頓珍漢なものばかりで、市長がこう決めたとかではなく、もっと自分たちの考えを持ってほしい。
- ◆ 生徒数が増えている入間中をなくすのは不条理だ。
- ◆ 入間中の生徒数が100人きっているなら仕方がないと思うが、今の人数で廃校にするのは納得がいかない。
- ◆ 来年は1年生が4クラスになる見込みの入間中が、生徒が少なくなるから統廃合になりますなんて子どもに説明できない。
- ◆ 統廃合に痛みが伴うのは仕方ないと思うが、その痛みを最小限に止めようとする誠意が教育委員会からは感じられない。
- ◆ 統廃合してもかまわないが、それなりに納得のいく対応をしてほしい。
- ◆ 入間小の教員が統合先の学校にあまり配属されなかったことに対し、最終的に人事は県で決めているという教育委員会の説明は、心が通っていない。
- ◆ 仮に統廃合になったとしても、入曽地区の大人たちが皆で真剣に考えたけれど、結果としてこういうふうになってしまったと子ども達にきちんと説明できるくらい十分に話し合う必要があると思う。

- ◆ 教育委員会と敵対している現状は悲しいことだし、もっと話し合う時間があれば、まだ互いに信頼し合える余地はあると思う。
- ◆ みんなで十分に話し合わないまま強引に統廃合を押し進めたら、不信感が残るだけだ。
- ◆ 教育委員会は、入間中の保護者は統廃合の対象校だから皆反対だろうと警戒するのではなく、今日のようにもっと積極的に意見を聴きにきてほしい。
- ◆ 私たちは、ただ統廃合に反対しているというのではなく、良い方向にしていきたいという一心で意見を言っているのを解かってほしい。
- ◆ 現状をもっと知ってほしいし、本当に入間中を廃校にしているのか、もう一回考え直してほしい。
- ◆ 少し意見を聞いたことにして保護者に諦めさせようではなく、本当にもう一度考え直してほしい。
- ◆ 子ども達の愛する入間中を取り上げて、向こうの学校を愛せなんて言えないし、そんな子ども達の思いを切り替えさせる親の気持ちを考えてほしい。
- ◆ 教育委員会は、統廃合に力を入れるのではなく、英語特区みたいな子ども達が通いたくなるような教育改革に力を注ぐべきだ。
- ◆ もっと早く今日のようにざっくばらんに話し合いができれば、ここまで話がこじれることはなかったはずだ。
- ◆ 現在のような教育委員会の姿勢では、狭山市で子どもを育てたいとは誰も思わない。